

# 都市づくりのグランドデザイン (素案)

-The Grand Design for Urban Development-

平成 29 (2017) 年 5 月  
東京都



## 目次

はじめに.....	1
<b>第1章 都市づくりのグランドデザインの役割.....</b>	<b>2</b>
1 位置付け.....	2
2 目標時期.....	2
<b>第2章 2040年代の社会状況や都民の活動イメージ.....</b>	<b>3</b>
1 東京の人口予測.....	4
2 社会状況や技術革新の見込み.....	6
3 2040年代における都民の活動イメージ.....	10
<b>第3章 東京が果たすべき役割.....</b>	<b>15</b>
1 世界における役割.....	15
2 日本における役割.....	17
<b>第4章 目指すべき新しい都市像.....</b>	<b>18</b>
1 都市づくりの目標.....	18
2 目指すべき都市構造.....	19
3 新たな地域区分.....	28
<b>第5章 都市づくりの戦略と具体的な取組.....</b>	<b>35</b>
1 都市づくりの7つの戦略.....	35
2 7つの戦略に沿った具体的な取組.....	50
<b>第6章 個別の拠点や地域の将来像.....</b>	<b>122</b>
<b>第7章 2040年代の将来像の実現に向けて.....</b>	<b>144</b>
用語解説.....	148



## はじめに

東京は、今後、人口減少局面に入るとともに 2040 年代には高齢化率が約 3 割に達するなど、これまで世界のどの都市も経験したことのない少子高齢・人口減少社会を迎えることとなります。

また、グローバル化の進展、巨大地震の脅威や深刻化するエネルギー問題など、国内外の社会経済情勢の大きな変化や様々な困難に直面することも想定されています。

一方で、自動運転技術や再生可能エネルギーの普及など、都民生活や企業活動に影響を与える幅広い分野の技術革新が見込まれています。さらに、道路や鉄道のネットワークの形成が進むことで首都圏全体の交通・物流機能が大きく改善し、人やモノの流れがより広域化することや、人々の価値観やライフスタイルの一層の多様化も想定されています。

社会環境が大きく変化する時代においても、東京は、その変化に対応できる都市として、持続的に発展していかなくてはなりません。

そのため、都市づくりが構想から実現までに長い時間を要することを踏まえ、将来を見据えて、今なすべきことを着実に取り組み、より良い都市の実現につなげていきたいと考えています。

世界の都市総合ランキング※（2016 年）で、東京は、ロンドン、ニューヨークに次ぐ第 3 位であり、都市の成長がその国の成長を牽引すると言われるなか、東京が持つ強みを伸ばし、課題を克服することで、世界第 1 位の都市を目指していきます。

2020 年には、東京で 2 度目となる東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）が開催され、2045 年には戦後 100 年の節目を迎えます。壊滅的な状況からよみがえった東京の繁栄は、一朝一夕にできたものではなく、先人たちのたゆまぬ努力の積み重ねによるものです。

2040 年代は、東京 2020 大会を小学生・中学生・高校生として迎える世代が社会を担う時代です。私たちには、この「世界を感じた次世代」に、活力、ゆとり、潤いのある都市空間や質の高い豊かな生活を確実に引き継いでいく使命があります。

将来においても、都民が夢と希望を持ち、豊かな生活を実感できる都市で在り続けるため、都市の将来像とその実現方策を「都市づくりのグランドデザイン」として示し、次世代に確実に継承できるよう、都市づくりに取り組んでいきます。